

効果に期待

新年度予算総額149億6347万円
(前年度比4.3%増)



子どもたちの笑顔がいっぱい！ (よつばこども園)

総括質疑 — 施政の方針を問う —

歳出効率化をどうしていくか

関千鶴子議員

消費税率引き上げの影響は

町 消費税率の引き上げによる影響は。歳出効率化をどのように進めていくのか。

町長 増税による消費の減退が懸念され、町内景況にも影響があると認識している。国策と連動し、増税の影響を緩和させたい。町の事業を、委託や指定管理者の管理にすることにより、歳出の効率化を図っていく。

人口減少対策は

町長 最重要課題である人口減少への今後の対応は。

町長 平成29年に人口減少緊急対策プロジェクトチームを設置し、各施策を実施してきた。新年度も、住宅整備基本構想の策定など、人口減少対策を積極的に推進する。

将来負担をどうする

町 町の将来負担を、どう捉えているか

町長 起債(借金)は公債費(返済)として将来負担につながるが、本町は交付税措置のある有利な起債を有効活用している。また、基金(貯金)の有効活用により、財政負担の軽減も図れるものと考えている。

除雪体制の検討を

町長 高齢者世帯等の雪下ろし支援について、除雪体制の検討も必要ではないか。

町長 除雪作業の担い手不足が課題となっている。ICT活用の可能性を踏まえつつ、民間活力の活用、官民連携の対応など、新たな仕組みづくりの検討が必要である。